

## 会長2期目の就任にあたって

上田 克彦

公益社団法人日本診療放射線技師会 会長

本年（2022年）6月11日に開催されました第84回定時総会において理事に選出いただき、直後の第2回理事会で会長として再任いただきました。2期目を迎え、伝統ある本会会長としての責任を一層強く感じています。1期目の2年間は「対話と協調」を掲げ、関係する団体や省庁との連絡を密に行い、本会事業へのご協力と共同事業を数々実現しました。2021年6月には日本医学放射線学会、日本放射線科専門医会・医会、日本放射線技術学会と本会で、“放射線診療4団体連絡協議会”を設立しました。その活動の一環として2023年4月の第31回日本医学会総会において、放射線診療を国民により知っていただくためのブースを出展することになりました。



2期目は「発信と実行」を掲げて運営していきたいと思えます。本会事業は多岐にわたっており、会員の皆さまにとって全体像を把握することは容易でないと承知しております。また本会事業を会員だけではなく非会員にもご理解いただくことは組織率向上に不可欠だと考えています。そこで本年度は本会ホームページのリニューアルを計画し、スマートフォンでの閲覧が容易になるようにしたいと思います。SNSによる情報発信については、世界放射線技師会（ISRRT）も情報発信源としているFacebookをすでに始めていますが、今後も若い方のニーズに合ったサイトでの広報活動の拡大を検討していきます。

次に、本会の活動の拠点となっている委員会や分科会においては、その役割を終えたり具体的な成果が見通せないものについては、廃止や統合を進めています。委員会や分科会の目的を明確にし、事業の達成について実行性のあるものにしたいと思います。

政策における活動においては、畦元将吾衆議院議員に本会顧問に就任いただき、診療放射線技師が国民に貢献できる活動を広げていきたいと思えます。

平素より上記の活動を支えていただいている都道府県（診療）放射線技師会の皆さまに、心から御礼を申し上げます。また1期目で達成できていない組織率70%を目指すため、教育関係者の皆さまにも本会の活動についてさらなるご理解を頂けるようにしたいと思います。

最後に、改正診療放射線技師法の業務拡大に伴う告示研修につきましては、積極的な申し込みを頂きながら新型コロナウイルス感染症の影響で実技研修の開催が遅れ、ご心配をお掛けしましたことをおわび申し上げますとともに、告示研修を運営いただいております皆さまのご協力に感謝申し上げます。2期目の新体制における運営についてもご支援いただきますようお願い致します。